

鹿児島県侵略的外来種カルテ

平成30年3月

栽培していたものが逸出して広がりました。鹿児島県では重要防除種、環境省では特定外来生物に指定され、島嶼を含む県内各地に点在しています。在来水生植物と競合したり、水中の酸素欠乏、水面下の被陰などの生態系への影響、通水障害があります。外来生物法で、栽培や野外に捨てることは禁止されています。既に県内各地に定着しています。自己の管理する池や水田・水路などで生育を確認したら、水系を介して分布が広がらないように注意し、除去して処分して下さい。

1 基本情報

分類	
目・科名	サトイモ科
種名(亜種名)	ボタンウキクサ
学名	<i>Pistia stratiotes</i>
環境省カテゴリー	特定外来生物 緊急対策外来種
県カテゴリー	重要防除種
由来	国外由来外来種
侵略的外来種番付表	小結(本土)
番付表掲載の理由	知名度の高い外来種
その他カテゴリー (日本生態学会ワースト100/IUCN 世界の侵略的ワースト100)	日本の侵略的外来種ワースト100
侵入・定着の状況	
自然分布域	熱帯(南アフリカ?)
県内初報告	不明
県内への侵入の経緯	栽培逸出
県内の侵入分布	島嶼を含む県内各地に点在
全国の侵入分布	関東から北陸以西、北陸以西から沖縄、小笠原
生態学的特性	
生態	葉の間から茎を伸ばし、子株、孫株を次々とつくり、瞬く間に水面に広がる。
形態	暖地では常緑多年草となる浮遊性植物。 茎はごく短い。葉は互生して放射状に広がり、ピロード状に短毛が密生する。根は羽毛状に分裂して水中に垂れさがる。花は淡緑色。
繁殖形態	繁殖期は5～10月。 葉の間から茎を伸ばして、子株、孫株を次々とつくり、瞬く間に水面を覆う。
生息環境	亜熱帯～熱帯の池沼、河川、水田の日当たりの良いところに生育。
特記事項	特定外来生物なので、学術研究や教育などを目的として、あらかじめ申請して許可を取得した場合を除き、飼育、保管、生きたままの移動等はできません。 ウォーターレタスとも呼ばれています。



2 影響	
被害の実態・おそれ ①生態系にかかる被害 ②農林水産業への被害 ③人の生命身体への被害	①在来水生植物と競合。生態系に影響(水中の酸素欠乏、水面を被陰)。 ②通水障害。
県内で特に予想される被害	県内の在来水生植物との競合。通水障害。
被害をもたらしている要因 ①生物学的要因 ②社会的要因	①繁殖能力の高さ。 ②栽培していたものの逸出。
3 対策	
ボタンウキクサを見つけたら	外来生物法で、栽培や野外に捨てることは禁止されています。既に県内各地に定着しています。自己の管理する池や水田・水路などで生育を確認したら、水系を介して分布が広がらないように注意し、除去して処分して下さい。
見分け方	ボタンウキクサは常緑の多年草で水面を浮遊する水草で、茎はごく短い。水面に水平または斜めに葉を広げる。花は小さくて目立たない。 なお、本種に類似した在来植物はない。
見かけやすい場所・時間	池沼、河川、水田の日当たりの良い場所に生育。
防除方法	熊手で引き寄せるなどの人力やパワーショベルなどの重機による防除。
防除の取組事例	平成21年から緑川水系水草対策連絡協議会の関係機関による、緑川流域(江津湖)での駆除が続けられている。
その他	—
参考資料・参考URL	国立研究開発法人国立環境研究所 侵入生物データベース https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/80790.html 財団法人自然環境研究センター(2008)日本の外来生物. 平凡社. 東京 Nature of Kagoshima 鹿児島県自然環境保全協会 http://www.kagoshima-nature.org/category/back-number/ 国土交通省河川環境課(2013)河川における外来植物対策の手引きp191-194.